

Japanese Utility Model Registration No. 3065786

[Title of the Device] Bottle Suspender

[Scope of Claim for Utility Model Registration]

[Claim 1]

5 A bottle suspender having an engaging portion
(1) and suspension cord attachment parts (2) protruding
from the engaging portion (1), the engaging portion (1)
removably engaging with a guard portion (12) of a bottle
(P), and a suspension cord (10) being attached to the
10 suspension cord attachment parts (2); wherein

the engaging portion (1) and the suspension cord
attachment parts (2) being integrally molded from an
elastic material, the engaging portion (1) being formed in
a circular shape, and the suspension cord attachment parts
15 (2) being formed in a tongue shape.

[Claim 2]

The bottle suspender according to claim 1,
wherein the elastic material is a thermoplastic
polyurethane elastomer.

20 [Claim 3]

The bottle suspender according to claim 1 or 2,
wherein the circular engaging portion (1) has an outside
diameter smaller than the outside diameter of the guard
portion (12) of the bottle even when the engaging portion
25 (1) is engaged with the guard portion (12).

[Claim 4]

The bottle suspender according to claim 1 or 3,
wherein the suspension cord attachment parts (2) protrude
outwardly from the circular engaging portion (1), at both
5 ends in the diameter direction of the circular engaging
portion (1).

[Brief Description of the Drawings]

[Fig. 1]

Fig. 1 is a perspective view of an embodiment of
10 the bottle suspender according to the present device.

[Fig. 2]

Fig. 2 is a plan view of the above embodiment.

[Fig. 3]

Fig. 3 shows the III-III section of Fig. 2.

15 [Fig. 4]

Fig. 4 is a perspective view showing how the
above bottle suspender is attached to a PET bottle.

[Fig. 5]

Fig. 5 is a perspective view of the above bottle
20 suspender attached to a PET bottle.

[Fig. 6]

Fig. 6 is a perspective view of a conventional
bottle suspender.

[Explanation of the Reference Numerals]

25 A - bottle suspender

-3-

- P - PET bottle (bottle)
- 1 - circular engaging portion
- 2 - suspension cord attachment part
- 10 - suspension cord
- 5 12 - guard portion of a bottle

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3065786号
(U3065786)

(45) 発行日 平成12年2月8日 (2000. 2. 8)

(24) 登録日 平成11年11月4日 (1999. 11. 4)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

B 6 5 D 23/00

P

評価書の請求 未請求 請求項の数4 OL (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願平11-5267

(22) 出願日 平成11年7月14日 (1999. 7. 14)

(73) 実用新案権者 399041457

東洲貿易有限会社

大阪府大阪市中央区農人橋1丁目4番31号

(72) 考案者 野田 繁美

大阪府大阪市中央区農人橋1丁目4番31号 東洲
貿易有限会社内

(74) 代理人 100071168

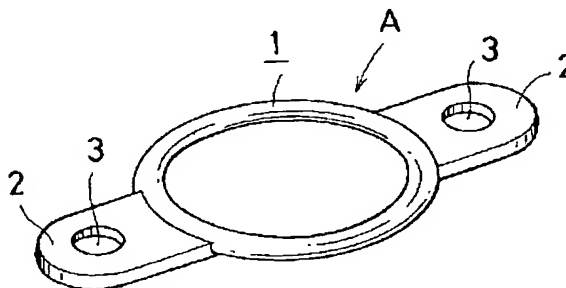
弁理士 清水 久義 (外2名)

(54) 【考案の名称】 ボトル用吊下げ具

(57) 【要約】

【課題】 ボトルへの着脱が容易であることはもとより、嵩張らず、使用状態においてもボトルとの程良い調和が取られ、取って付けたような印象を与えることのない外観体裁の優れたボトル用吊下げ具を提供する。

【解決手段】 ボトル容器Pの罫部12に係脱自在に係合する係合部1と、該係合部1に突設され吊紐部材10が連結される吊紐部材取付片2とを熱可塑性ポリウレタンエラストマーから一体成形する。係合部1を円環状に形成すると共に、その外径が罫部との係合時においてもボトル容器罫部12の外径よりも径小になるものと設定する。吊紐部材取付片2を、円環状係合部1の径方向両端に外方に向かう舌片状に形成すると共に、各々に吊紐部材取付け用透孔3、3を設ける。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ボトル容器（P）の罅部（12）に係脱自在に係合する係合部（1）と、該係合部（1）に突設され吊紐部材（10）が連結される吊紐部材取付片（2）とを備えてなるボトル用吊下げ具において、前記係合部（1）と吊紐部材取付片（2）とが、伸縮性に富んだ素材から一体成形されると共に、前記係合部（1）が円環状に形成される一方、前記吊紐部材取付片（2）が舌片状に形成されてなることを特徴とするボトル用吊下げ具。

【請求項2】 伸縮性に富んだ素材が、熱可塑性ポリウレタンエラストマーである請求項1に記載のボトル用吊下げ具。

【請求項3】 円環状係合部（1）は、その外径がボトル容器罅部（12）との係合時においてもボトル容器罅部（12）の外径よりも径小になるものと設定されてなる請求項1又は請求項2のいずれかに記載のボトル用吊下げ具。

【請求項4】 吊紐部材取付片（2）が、円環状係合部

（1）の径方向両端に外方に向かって突設されてなる請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のボトル用吊下げ具。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係るボトル用吊下げ具の一実施形態の斜視図である。

【図2】 同平面図である。

【図3】 図2のIII－III線断面図である。

【図4】 同ボトル用吊下げ具のペットボトルへの取付途上の斜視図である。

【図5】 同取付完了状態の斜視図である。

【図6】 従来のボトル用吊下げ具の斜視図である。

【符号の説明】

A…ボトル用吊下げ具

P…ペットボトル（ボトル容器）

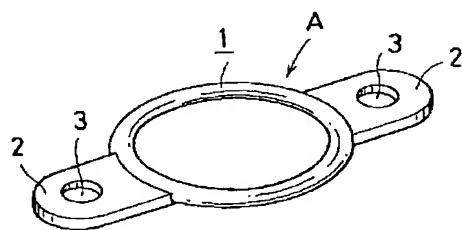
1…円環状係合部

2…吊紐部材取付片

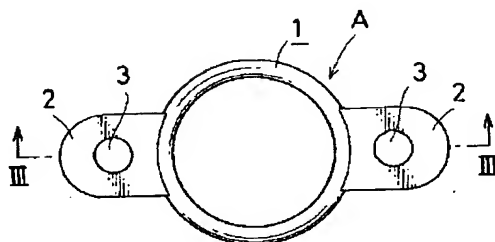
10…吊紐部材

12…ボトル容器罅部

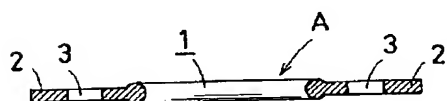
【図1】



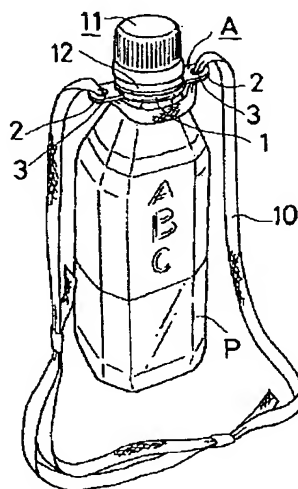
【図2】



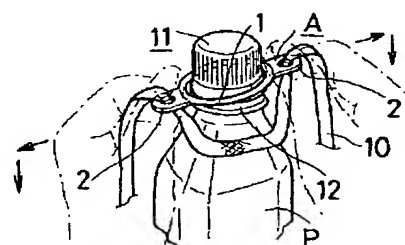
【図3】



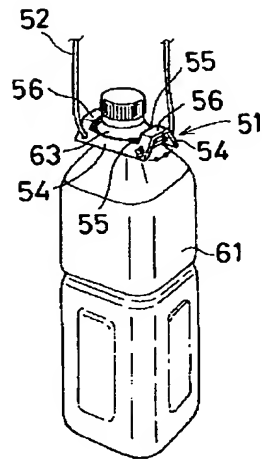
【図4】



【図5】



【図6】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は、ボトル用吊下げ具、特にいわゆるペットボトルを携帯する際に好適なボトル用吊下げ具に関する。

【0002】

【従来技術】

近時、清涼飲料の包装用容器として需要の高まってきているペットボトルは、スクリュキャップを開栓して清涼飲料の一部を取り出した後、スクリュキャップを閉栓すると再度密封状態を得ることができ、いわゆる水筒のように取り扱うことができるという携帯性に優れているところから、その携帯性をより一層高めるためにペットボトルを携帯時に吊下げ保持しうる吊下げ具が種々提案されている。

【0003】

例えば、図6に示すように、ポリプロピレン等の弾性変形可能な素材から作製され、ペットボトル(61)の鰐部(63)に係止する係止手段(55)(55)を有する一対のコ字状係止片(54)(54)が、係止手段(55)(55)の相対的距離を変更可能にする連結片(56)(56)を介して連結されると共に、係止片(54)(54)に吊紐(52)が挿通されてなるペットボトル用吊下げ具が公知である(特開平11-29147号公報参照)。

【0004】

このペットボトル吊下げ具(51)は、ペットボトル(61)の吊り下げ時において、ペットボトル(61)及びその内容物の重量による荷重が掛かると、係止手段(55)(55)が、鰐部(63)の左右両側下方においてペットボトル(61)の首部を挟着するように係止するものであるから、ペットボトル(61)を確実に吊り下げることができる。また、その係止操作、係止解除操作も簡単に行えることができるものである。

【0005】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、このペットボトル用吊下げ具（51）は、図からも明らかなように、一对の連結片（56）（56）が一对の係止片（54）（54）により下方から支持されたような立体的形状に形成されており、いささか嵩高いものである。また、このような嵩高い形状であるために、ペットボトルへの取付状態においては、ペットボトルの首部に大きく張り出した格好となり、いかにも吊下げ具が取り付けられていることを外観視させるものであり、体裁の良いものではない。

【0006】

この考案は、このような事情に鑑みてなされたもので、ボトルへの着脱が容易であることはもとより、嵩高くならず、使用状態においてもボトルとの程良い調和が取られ、取って付けたような印象を与えることのない外観体裁の優れたボトル用吊下げ具を提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、この考案は、ボトルの鐳部に係合する係合部を円環状に形成して、鐳部との調和を図ると共に、吊紐部材取付片を舌片状に形成して、全体を平面的であって嵩高くなることのない形状とした。

【0008】

すなわち、この考案に係るボトル用吊下げ具は、ボトル容器の鐳部に係脱自在に係合する係合部と、該係合部に突設され吊紐部材が連結される吊紐部材取付片とを備えてなるボトル用吊下げ具において、前記係合部と吊紐部材取付片とが、伸縮自在な素材から一体成形されると共に、前記係合部が円環状に形成される一方、前記吊紐部材取付片が舌片状に形成されてなる構成を採用する。

【0009】

この構成によれば、係合部と吊紐部材取付片とが、伸縮自在な素材から一体成形されると共に、係合部が円環状に形成される一方、吊紐部材取付片が舌片状に形成されているから、全体を平板なものとしてことができ、使用時はもとより、使用前の保管、管理時にも嵩張ることがない。また、取付状態においても円環状係合部がペットボトル鐳部の下方から係合し、円環状係合部の大半が鐳部に隠れるので、ペットボトル首部において目立つことがない。

【0010】

このボトル用吊下げ具を構成する素材は、ペットボトル鐳部にしっかりと係合し、吊組部材を用いてペットボトルを吊下げることができかつ伸縮性に富んだものであれば、ゴム、軟質合成樹脂のいずれでも採用しうるが、価格、耐久性等を考慮すると、軟質合成樹脂の中でも熱可塑性ポリウレタンエラストマーが最も好ましい。

【0011】

円環状係合部は、鐳部係合時における外径がボトル容器鐳部の外径よりも径小に設定されてなる場合は、鐳部に係合した状態において上方からは全く見えなくなって、あたかも吊組部材取付片がペットボトル首部から側方に突出しているだけの外観を呈するので見た目にも極めてシンプルなペットボトル用吊下げ具となしうる。

【0012】

また、吊組部材取付片は、円環状係合部の径方向両端のいずれかに突設されていれば良いが、ボトル鐳部への係脱操作の操作性を考慮すると、両端に突設されていることが望ましい。

【0013】

【考案の実施の形態】

以下、この考案に係るボトル用吊下げ具の一実施形態を図面に基づいて説明する。

【0014】

この実施形態のボトル用吊下げ具（A）は、熱可塑性ポリエステルエラストマーから作製されてなるもので、ペットボトル（P）の鐳部（12）に係合する係合部（1）が円環状に形成され、該円環状係合部（1）の径方向両端に一对の吊組部材取付片（2）（2）が一体成形されている。

【0015】

前記円環状係合部（1）は、ペットボトル鐳部（12）に係合するために、その内径が鐳部（12）の外径よりも径小に設定されていることはもとより、その外径が鐳部係合時においてもペットボトル鐳部（12）の外径よりも径小なるものと設

定されている。

【0016】

前記一対の吊紐部材取付片(2)(2)は、円環状係合部(1)の外径の半径に略々等しい幅を有する舌片状に形成され、各々の略々中央部に吊紐部材取付け用透孔(3)が設けられている。吊紐部材(10)は、一方の取付片(2)の上方から吊紐部材取付け用透孔(3)に挿通された後、他方の取付片(2)の下方から吊紐部材取付け用透孔(3)に挿通され、両端部が適宜結び合わされることにより取り付けられている。また、この吊紐部材(10)は、この実施形態においては、ラッセル生地からなる細幅のテープが採用されているが、これに限定されるものではなく、合成樹脂テープからなるものとしても良いし、金属製チェーンからなるものとしても良い。

【0017】

而して、上記構成を有するボトル用吊下げ具(A)をペットボトル(P)に取り付けるに際しては、図5に示すように、円環状係合部(1)をキャップ(11)に嵌め合わせた後、円環状係合部(1)両端の吊紐部材取付片(2)(2)の一方(左側)を掴んで図中矢印で示すように手元に引っ張りながら下方に押し下げ、円環状係合部(1)の一部を鍔部(12)の下方に落とし込み、該吊紐部材取付片(2)を引っ張っていた力を解除する。そして、右側の吊紐部材取付片(2)についても同様の操作を行い、該吊紐部材取付片(2)寄りの円環状係合部(1)の一部を鍔部(12)の下方に落とし込むと、図4に示すような所期する取り付け状態が得られる。

【0018】

次に、ペットボトル(P)に取り付けられたこのボトル用吊下げ具(A)をペットボトル(P)から取外すに際しては、先ず、前記取り付け操作とは逆に、一方の吊紐部材取付片(2)を外方かつ上方に強く引っ張って、該吊紐部材取付片(2)寄りの円環状係合部(1)の一部を鍔部(12)の上方に引き出す。そして、該吊紐部材取付片(2)をさらに上方に引っ張り上げ、該吊紐部材取付片(2)がキャップ(11)の上面にまで達すると、円環状係合部(1)の半分以上が鍔部(12)から抜脱される。この時点では他方の吊紐取付部材(2)側の円環状係

合部（１）の一部は、鐳部（１２）に係合したままである。そこで、該吊紐部材取付片（２）をさらにキャップ（１１）の上方にまで引っ張り上げると、鐳部（１２）に係合したままの他方の吊紐取付部材（２）側の円環状係合部（１）の一部も鐳部（１２）の上方に引き上げられ、円環状係合部（１）がキャップ（１１）から外れることになる。

【００１９】

【考案の効果】

この考案に係るボトル用吊下げ具（Ａ）は、上述の次第で、ボトル容器（Ｐ）の鐳部（１２）に係脱自在に係合する係合部（１）と、該係合部（１）に突設され吊紐部材（１０）が連結される吊紐部材取付片（２）（２）とが、伸縮性に富んだ素材から一体成形されてなるものであるから、伸縮性を利用することによりボトル容器鐳部（１２）への係脱を任意に行うことができる。

【００２０】

しかも、前記係合部（１）が円環状に形成される一方、前記吊紐部材取付片（２）が舌片状に形成されてなるものであるから、全体を嵩の低い平板なものとすることができると共に、前記係脱操作も舌片状吊紐部材取付片（２）を掴んで行うことができ操作性にも優れている。

【００２１】

請求項２の考案によれば、伸縮性に富んだ素材が、熱可塑性ポリウレタンエラストマーであるから、所期する強度を備えたボトル用吊下げ具を可及的安価に製作することができる。

【００２２】

請求項３の考案によれば、円環状係合部（１）は、その外径が鐳部係合時においてもボトル容器鐳部（１２）の外径よりも径小になるものと設定されているので、ボトル（Ｐ）への取付状態においては、円環状係合部（１）の大半が鐳部（１２）に隠れる一方、鐳部（１２）下方から舌片状吊紐部材取付片（２）が突出する格好となるので、外観体裁が良好であると共に、飲料を飲む際にも邪魔になることもない。

【００２３】

請求項4の考案によれば、吊紐部材取付片（2）が、円環状係合部（1）の径方向両端に外方に向かって突設されているので、前記係脱操作の操作性をより一層向上させる。